



第3回 広島県循環器緩和ケア研究会

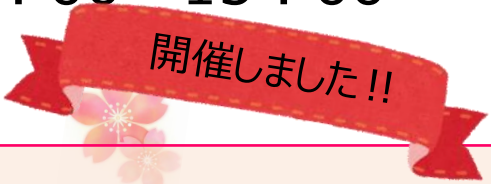
～心不全緩和ケアにおける病診連携の現状と課題～

日時

令和3年3月7日(日) 13:00～15:00

方法

オンライン開催 (Zoom配信)



プログラム1 教育講演 【座長】 広島大学病院麻酔科 講師 中村 隆治 先生

『心不全緩和ケアにおける薬物治療のアップデート』



広島大学病院薬剤部 薬剤師 櫻下 弘志 先生
現在「心不全緩和ケアの薬剤業務に関する進め方」の策定に参加されている櫻下先生より、心不全緩和ケアに用いられる薬剤に関する使用方法について、特徴的な症状に合わせて述べられました。

プログラム2 一般講演 【座長】 広島大学病院循環器内科 助教 北川 知郎 先生

『心不全緩和ケアにおける病診連携の現状と課題』

①医療ソーシャルワーカーからの報告 福山循環器病院 社会福祉士 竹内 ゆきえ 先生



竹内先生が実際に担当された心不全終末期にある患者との関わりの中で、揺れる症状を本人・家族が次第に受け入れつつ、本人の願いに沿いたい思いの家族に寄り添う、MSWの活動を述べられました。社会支援サービスのはざまでの支援の困難さ、課題点を提示いただきました。

②在宅診療医からの報告 コールメディカルクリニック広島 医師 伊達 修 先生



伊達先生が、在宅で心不全終末期にある患者を受け入れる準備、施設内の多職種チームとの打ち合わせ、実際に患者を受け入れるまでの社会支援体制の整備、実際の診療の様子を、成功事例、困難事例両方を示されました。「家にいることも緩和ケア」とのメッセージがとても印象的でした。

今年度は新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインでの開催となりました。そのため、より広島県内全域および、近隣からも参加いただき、参加者は93名となりました。オンラインでの活発な意見交換というまでは、まだ成熟していませんが、研修会終了後のアンケートでは、まさに現場にある3名の講師からのメッセージは、聴講者の胸に響く内容であったことが、数多くのコメントから感じられました。

広島大学病院 心不全センター事務局では、今後も引き続き、医療従事者向けの研修会等を開催予定です。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。 【広島大学病院 心不全センター 事務局】